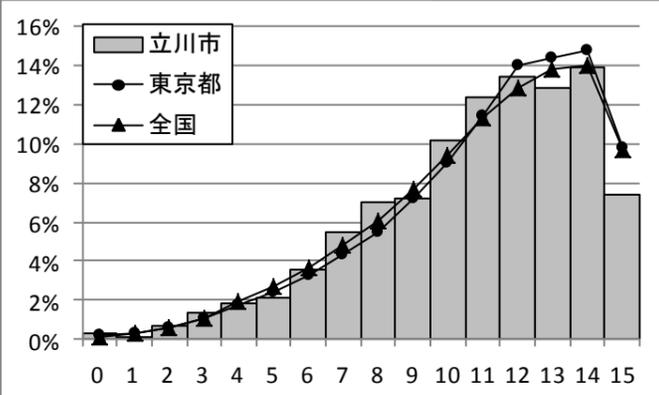
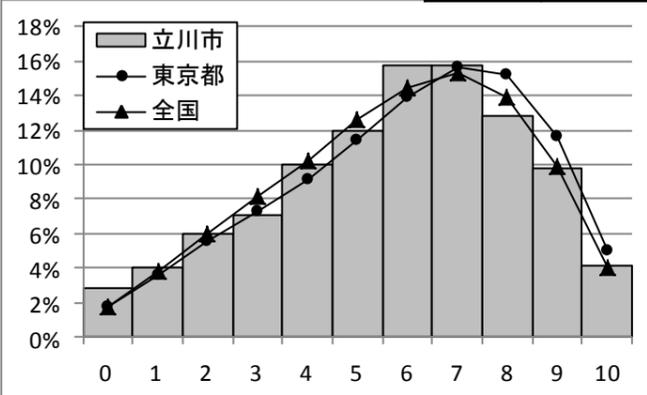


平成28年度「全国学力・学習状況調査」教科別正答数分布（小学校）

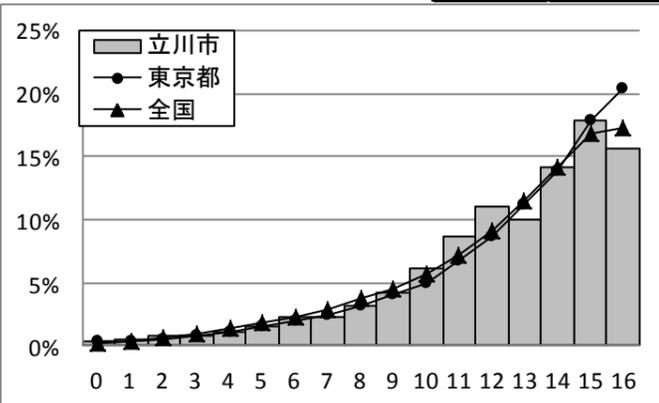
立川市	71.8
東京都	73.8
全国	72.9



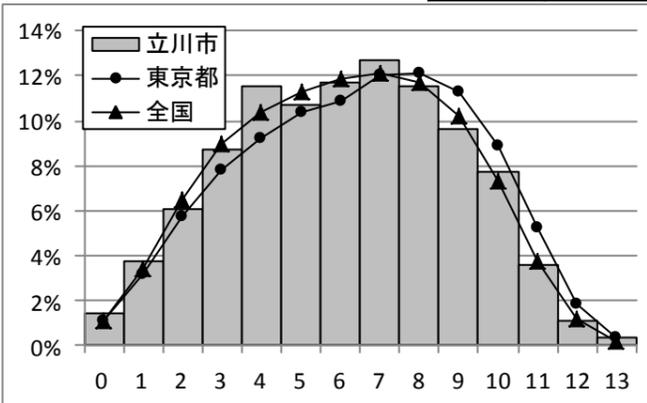
立川市	57.3
東京都	59.8
全国	57.8



立川市	77.7
東京都	79.4
全国	77.6

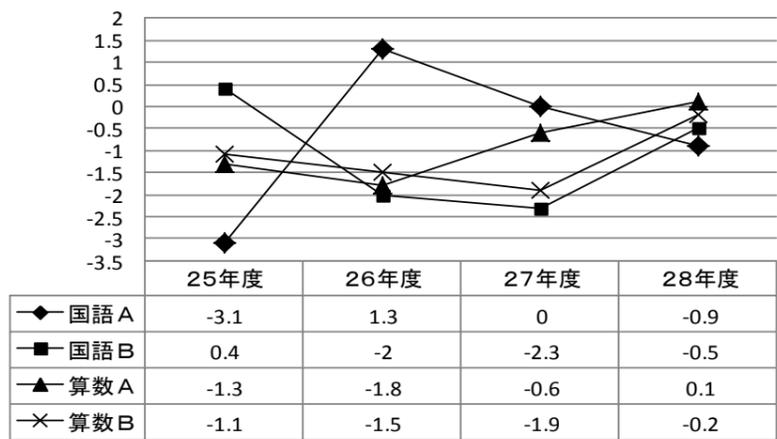


立川市	47.0
東京都	49.8
全国	47.2



立川市の教科別平均正答率と全国の教科別平均正答率との差 過去4年間の推移

〈過去4年間の推移について〉
 ○国語A以外は平均正答率の差が年々小さくなっている。
 ○算数A、算数Bについては、過去4年間で約+2ポイント以上の上昇が見られる。



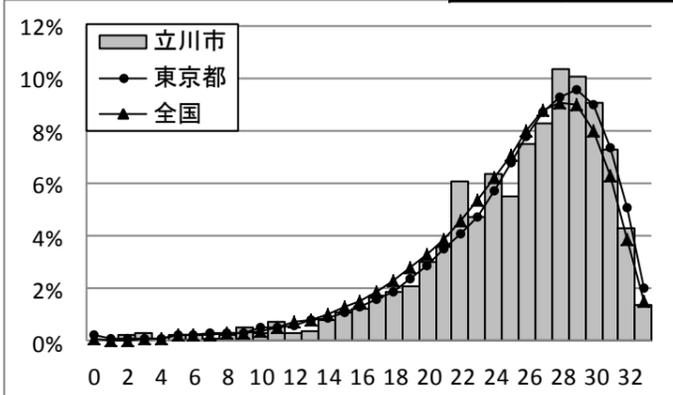
〈結果の概要〉

○国語Aにおいて、全国や都と同じ傾向が見られ、上位層に分布が集中していることから基礎的な知識・技能の習得はおおむね図られている。国語Bにおいては中心よりやや右側に分布が傾いており、思考力・表現力・判断力等の育成を図るための授業改善が図られつつある。

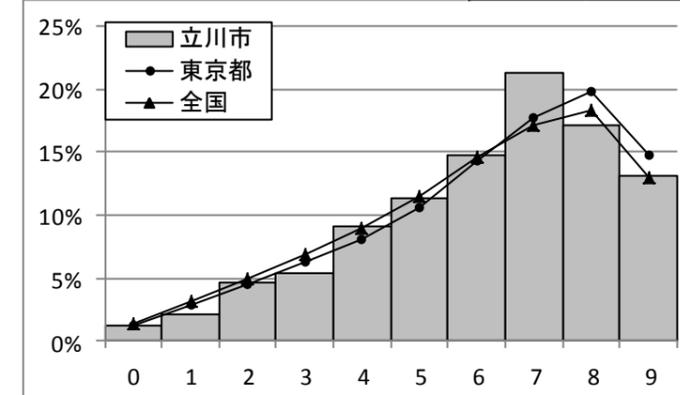
○算数Aにおいて、全国や都と同じ傾向が見られ、上位層に分布が集中していることから基礎的な知識・技能の習得はおおむね図られている。算数Bにおいては中心よりやや左側に分布が傾いており、今後は思考力・表現力・判断力等の育成を図るための授業改善をより推進していく必要がある。

平成28年度「全国学力・学習状況調査」教科別正答数分布（中学校）④

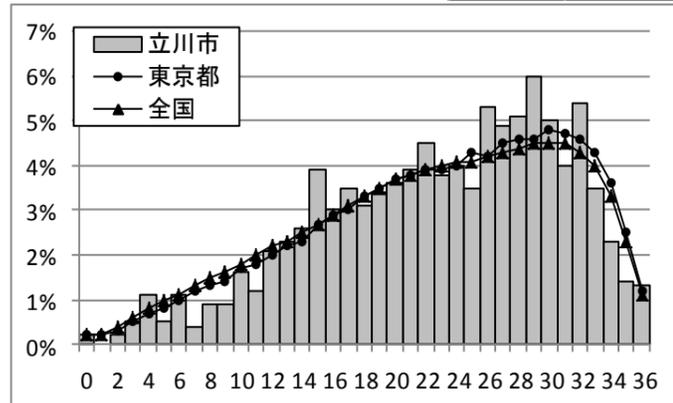
立川市	76.9
東京都	76.9
全国	75.6



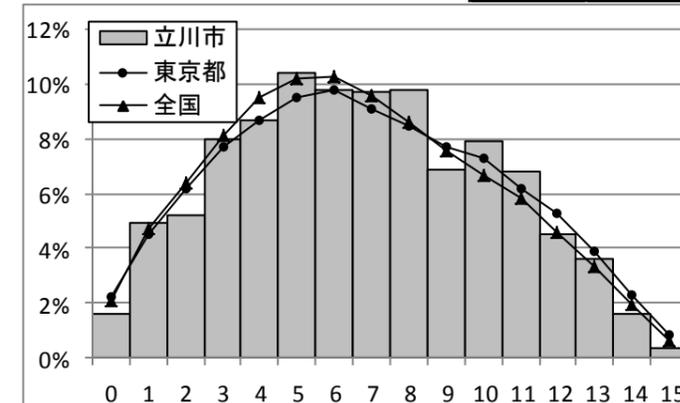
立川市	68.2
東京都	68.6
全国	66.5



立川市	63.6
東京都	63.5
全国	62.2

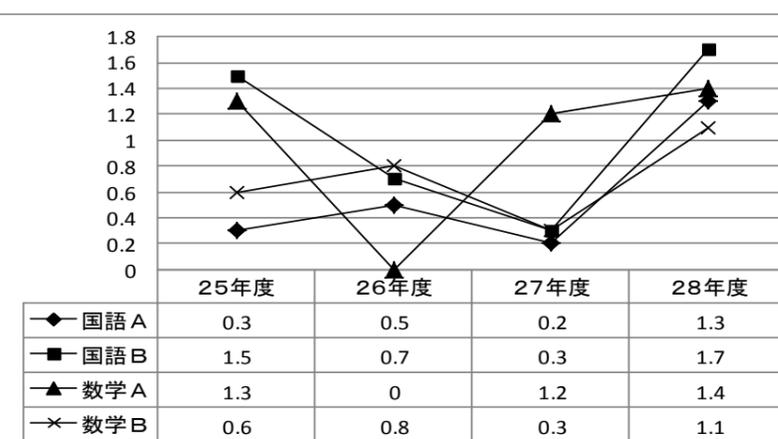


立川市	45.2
東京都	45.6
全国	44.1



立川市の教科別平均正答率と全国の教科別平均正答率との差 過去4年間の推移

〈過去4年間の推移について〉
 ○平成28年度は平均正答率の差がどの教科も+1ポイント以上になった。
 ○国語B、数学Bの活用に関する問題で大きくポイントが上昇している。



〈結果の概要〉

○国語Aにおいて、全国や都と同じ傾向が見られ、上位層に分布が集中していることから基礎的な知識・技能の習得はおおむね図られている。また、国語Bにおいても上位層に分布が集中していることから、思考力・表現力・判断力等の育成を図るための授業改善が図られている。

○数学Aにおいて、全国や都と同じ傾向が見られ、中心よりやや右側に分布が傾いており、上位層に分布が集中していることから基礎的な知識・技能の習得はおおむね図られている。数学Bについては、中心よりやや左側に分布が傾いており、今後は思考力・表現力・判断力等の育成を図るための授業改善をより推進していく必要がある。